

会社経歴書

1. 会社名

一般社団法人 more trees

2. 所在地

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-9-11 フレンシア外苑西103

TEL 03-5770-3969

FAX 03-5770-3896

3. 役員

代表理事 坂本龍一

理事 小黒一三

理事 池田正昭

理事 見城徹

理事 石橋直樹

監事 山崎卓也

理事 市川義男

4. 設立年月日

平成 19 年 7 月 19 日

5. 事業内容

1、植林、森林整備の実施および支援

2、カーボンオフセットのサービス提供

3、間伐材を利用したアイテムの企画、制作、販売

4、肖像、ロゴ、メッセージ等を利用した、Tシャツ等各種商品の企画、制作、販売

6. 資本金

3,000 千円

7. 従業員数

6 名 (非常勤含む)

8. 主な取引先 (敬称略)

株式会社伊勢丹
ルイ・ヴィトン ジャパン カンパニー
ワーナーミュージックジャパン
エイベックス・エンタテインメント株式会社
コクヨ株式会社
サザビーリーグ
株式会社ボンテヴェキオ ホッタ

9. 取引銀行および口座

三菱東京UFJ銀行 表参道支店
普通 2140730
一般社団法人more trees
イツパンシヤダンハウジン モア トウリーズ

10. 会社沿革

2007年7月	法人設立
2007年11月	more trees第1号のプロジェクトを高知県梶原町でスタート (森林整備)
2008年3月	カーボンオフセットサービスをスタート (第一号: 坂本龍一のシングル「koko」)
2008年8月	more trees第2号のプロジェクトを高知県中土佐町でスタート (森林整備)
2009年4月	more trees第3号のプロジェクトを北海道下川町でスタート (森林整備)
2009年5月	more trees第4号のプロジェクトをフィリピン・キリノ州でスタート (森林再生)
2009年9月	ルイ・ヴィトンと協働で小諸市での森林整備をスタート (第5号の森)
2009年9月	ANAとのカーボンオフセット・プログラムを供用開始
2009年10月	伊勢丹新宿店にて鳩時計コレクションを展開

*more***Trees**[®]

「more trees」について

2010年1月

一般社団法人 モア・トゥリーズ

概略

more trees (モア・トゥリーズ) とは、その名のとおり「もっと木を」という呼びかけです。
地球規模で森林の破壊がすすみ、人類の文明そのものが危機に瀕しているいま、
more trees というシンプルなメッセージは、
現実を動かす具体的なアクションでありたいと思います。
木をふやし、森をふやし、森が吸収する CO₂ をふやすことを、
また森が本来抱えている保水力や生物多様性をはぐくむ力を回復することを、
さらには森や水や太陽のめぐみに由来する
自然エネルギーに依拠する社会の実現にむかうことを、
more trees という名のもとに前進させていくムーブメントをめざします。
more trees は、誰もが実感をもって森が再生する喜びをわかちあえる、
普遍性をもったプラットフォームでありつづけたいと願います。

誕生の経緯

いま、地球上では急速な森林破壊がすすみ、
地球温暖化が危機的な状況を迎えています。
これまで環境問題や国際平和活動に様々なかたちでコミットしてきた
坂本龍一は植林・森づくりによって CO₂ の吸収源としての森の再生をはかりながら、人類と文明を
絶望的な危機から救わなくてはならない、と感じていました。
こうして 2007 年 7 月、坂本龍一をはじめ細野晴臣、高橋幸宏、中沢新一、桑原茂一の
5 名の発起人および各界から 100 名以上の賛同人を得て、
more trees が設立されました。

古来より森を失った文明が全て滅んできたことから分かりますとおり、
たくさんの生命を育む住処である地球を温暖化や破壊から守り、
人類の文明を支え、また CO₂ を吸収してくれる木を大切に、
植樹をし、日本を含め世界各地の森を再生させることを目的とする。
また化石燃料や原子力に替わり、太陽由来の自然エネルギーに
依拠する社会に速やかに移行するため努力することを啓蒙、
推奨し、その具体的なビジョンを提示したい。

more trees 設立主旨

坂本龍一

more trees 発起人 founding board members

坂本龍一 桑原茂一 細野晴臣 高橋幸宏 中沢新一

more trees 賛同人 supporters

●AOKI takamas (音楽家) ●青柳拓次 (音楽家) ●天野祐吉 (コラムニスト) ●荒川眞一郎 (ファッションデザイナー) ●飯野賢治 (ゲームクリエイター) ●yan (イラストレーター) ●池田正昭 (コピーライター/エディター) ●石井朝子 (greentee) ●石上純也 (建築家) ●石川直樹 (冒険家/写真家) ●石橋直樹 (Governance Design Laboratory) ●石丸アキヒコ (クリスタルボール代表) ●伊勢谷友介 (俳優/映画監督) ●市川義夫 (KAB 社長) ●伊藤穰一 (デジタルガレージ共同創業者) ●稲本正 (オークヴィレッジ/NPO ドングリの会代表) ●井上佐由紀 (写真家) ●上田義彦 (写真家) ●内田也哉子 (文筆家) ●エイジアエンジニア (ヒップホップグループ) ●枝廣淳子 (環境ジャーナリスト) ●エドツワキ (イラストレーター) ●M.HASUI (フォトグラファー) ●大住憲生 (ファッションディレクター) ●大貫妙子 (音楽家) ●大林ミカ (環境エネルギー政策研究所所長) ●岡田浩暉 (俳優) ●岡本真夜 (シンガーソングライター) ●小黑一三 (編集者) ●Oto (音楽家) ●小尾一介 (デジタルガレージ取締役) ●GAK SATO (音楽家) ●カクマクシャカ (音楽家) ●KATHY (パフォーマンスアーティスト) ●鎌仲ひとみ (映画監督) ●神谷幸鹿 (SHIBUYA-FM 取締役) ●川田龍平 (参議院議員) ●河原光 (アートディレクター) ●神無月好子 (ライター) ●KIKI (モデル/女優) ●菊地敦己 (アートディレクター) ●草野剛 (アートディレクター) ●熊谷信也 (TBS 事業局「赤坂BLITZ」支配人) ●熊谷有記 (インテリアデザイナー) ●christian fernes (musician) ●christopher willits (artist) ●見城徹 (幻冬舎社長) ●小泉均 (タイポグラファー) ●小林崇 (tree house) ●小林武史 (音楽プロデューサー) ●小林幹也 (インテリアデザイナー) ●サエキけんぞう (アーティスト/プロデューサー) ●坂本幸隆 (TOWER RECORDS) ●櫻井和寿 (音楽家) ●佐々木直喜 (華道家) ●サダヒロカズノリ (イラストレーター) ●Sascha (DJ) ●佐藤直樹 (アートディレクター) ●佐野史郎 (俳優) ●猿山修 (デザイナー) ●澤田知子 (アーティスト) ●塩崎恭久 (衆議院議員) ●志賀理江子 (写真家) ●柴田廣次 (パルコ執行役) ●清水慶太 (インテリアデザイナー) ●jealkb (ロックバンド) ●ショーン・レノン (ミュージシャン/プロデューサー) ●しりあがり寿 (漫画家) ●shing02 (音楽家) ●信藤三雄 (アートディレクター) ●菅谷晋一 (アートディレクター) ●SUGIZO (音楽家) ●祐真朋樹 (スタイリスト/写真家) ●鈴木正文 (編集者/ジャーナリスト) ●セキユリヲ (グラフィックデザイナー) ●SOFFe (ラップユニット) ●大日本タイポ組合 (グラフィックデザイナー) ●高城剛 (映像作家/DJ) ●高橋清子 (スタイリスト) ●高橋健太郎 (音楽評論家/音楽プロデューサー) ●高谷史郎 (芸術家) ●瀧本幹也 (写真家) ●武田双雲 (書道家) ●竹村真一 (Earth Literacy Program 代表/京都造形芸術大学教授) ●田島一成/Tajimmax (写真家) ●田中優 (文筆家) ●田中浪 (舞踏家) ●谷口恭子 (編集者) ●谷崎テトラ (構成作家/音楽家) ●田村淳 (ロンドンブーツ1号2号) ●月本裕 (作家) ●辻信一 (「ナマケモノ倶楽部」世話人) ●点 (デザイナー) ●Donny Grafiks (グラフィックデザイナー) ●外山輝信 (web デザイナー) ●豊田弘治 (イラストレーター/グラフィックデザイナー) ●中島英樹 (アートディレクター) ●長島有里枝 (写真家) ●中城敏 (commons/プロデューサー) ●中田英寿 (FIFA 親善大使) ●中浜宏一 (アースウォーカー) ●中村雅志 (株式会社ウィンドファーム代表/スロービジネススクール校長) ●ナチュラル ハイ (女性音楽デュオ) ●並木豊明 (ロイド代表/メガネディレクター) ●成宮寛貴 (俳優) ●名和晃平 (彫刻家) ●西健一 (ゲームクリエイター) ●西脇一郎 (インテリアデザイナー) ●新田桂一 (写真家) ●203gow (編み師) ●信國太志 (ファッションデザイナー) ●野村浩司 (写真家) ●元ちとせ (歌手) ●東泉一郎 (アートディレクター) ●ピーター・バラカン (ブロードキャスター) ●平間至 (フォトグラファー) ●広河隆一 (写真家) ●広川泰士 (写真家) ●ヒロコレッジ (アーティスト) ●ヒロ杉山 (アートディレクター) ●深澤直人 (プロダクトデザイナー) ●福岡伸一 (分子生物学者) ●藤田志徳 (シホ有限公司 G-Revo 代表) ●船木三秀 (プロセッサー/写真家) ●Paul Davis (Artist) ●堀美紗子 (エコベール日本支社代表) ●本田ゆか (ミュージシャン/プロデューサー) ●マエキタミヤコ (サステナ代表/コピーライター) ●正木高志 (エコロジスト/文筆家) ●松井龍誠 (ロボットデザイナー) ●松江泰治 (写真家) ●松尾貴史 (放送タレント/俳優) ●松武秀樹 (音楽家) ●Monday Michiru (音楽家) ●澤口佳代 (ビジュアルリスト) ●村上龍 (作家) ●MOTOKO (写真家) ●森川欣信 (音楽プロデューサー) ●森住卓 (写真家) ●もりばやししみほ (音楽家) ●森本千絵 (アートディレクター) ●山田玲司 (漫画家) ●山本幹由 (web magazine "OPENERS" 発行人) ●山本哲郎 (アートディレクター) ●YAM (音楽家) ●横山豊蘭 (書道家) ●吉田真紀 (プロダクトデザイナー) ●吉原悠博 (美術家/写真館店主) ●吉村栄一 (編集者) ●吉本多香美 (女優) ●米田知子 (写真家) ●Johan Prag (アートディレクター) ●Lalasso Poopo Lab. (グラフィックデザイナー) ●リリー・フランキー (作家/イラストレーター) ●和移利浩一 (ワタリウム美術館キュレーター)

※五十音順 敬称略 ★2010年1月現在/155名

活動のコンセプト

- みんなで、たのしく、正しい森づくり
- 温暖化対策、地域づくり、生態系に配慮した森づくり
- 自治体や NGO と連携した森づくり

日本と世界の森林

地球上では1秒間にサッカー場1面分の森林が失われているといわれています。一方で日本は、国土の67%が森林におおわれている、先進国でも屈指の森林国なのです。

ところが、その日本の森林がピンチです。日本の森林の40%は、スギやヒノキなどの人工林で、その大半は戦後に植えられたものです。本来人工林は定期的の間伐や下草刈りなどの手入れを行なうことで循環していました。しかし海外からの安い木材が大量に輸入されるようになったことで林業の採算が悪化し、手入れがされていない人工林がかなりの面積を占めています。

間伐つまり間引くという行為は、木を切ってしまうので一見してネガティブに捉えられがちですが、間伐をすることで地面に光が当たるようになることで草が生え、保水力のアップや土壌流出の防止、さらには生態系の向上などさまざまな効果が期待されます。

こうした背景から、私たち more trees は、国内では植林ではなく、間伐を推進しています。一方で海外では、植林をメインに活動を進めています。



間伐がされていない森。薄暗く、地面に草がほとんど生えていない。



間伐が進んだ森。光がさし、下草も生い茂っている。

more trees の森づくり 4つのカテゴリー

主に以下の4つのカテゴリーにおいて、具体的なプロジェクトを立ち上げていきます。

日本の森林再生 <JPN FOREST>

⇒森林整備から間伐材の利用までも視野に。各都道府県と協定締結。

熱帯林の再生 <TROPICAL FOREST>

⇒熱帯林、熱帯雨林の植林。インドネシア、フィリピン、ベトナム等。

砂漠の緑化再生 <DESERT GREEN>

⇒砂漠化する大地を緑にもどすプロジェクトを中国などで展開。

「海の森」の再生 <SEA FOREST>

⇒主にマングローブの植林をフィジーや南太平洋の島々で実施。



高知県梼原町



高知県中土佐町



北海道下川町



フィリピン・キリノ州



カーボンオフセットの展開

more trees は、カーボンオフセット・プロバイダーとしてさまざまなサービスを展開します。

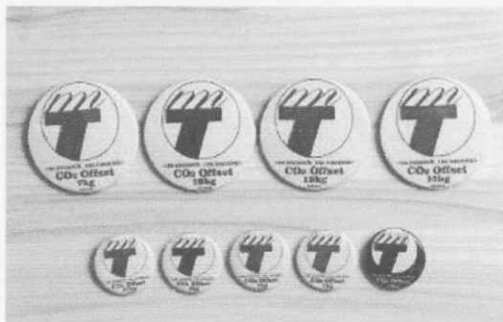
◆個人の方へ◆

・カーボンオフセットサービスの提供

みなさんの生活や活動によって排出された CO2 をオフセット(相殺)する機会をご提供します。たとえば飛行機で海外旅行したときに排出される CO2 を森づくりでオフセット。日々の使用電力によって排出される CO2 をオフセット。下記 URL より、みなさんの CO2 排出量が簡単に計算することができます。まずは自分の生活によって排出される CO2 を把握してみませんか？

<http://www.more-trees.org/calculator/lets-try.html>

*オフセット認証アイテムの例



◆企業の方へ◆

カーボンオフセットプロダクト／サービスを展開しませんか？

個人の方と同様、企業の排出するCO2も森づくりでオフセットできます。

たとえば、イベントやツアー開催で排出されるCO2をオフセット、広告や書籍、CD製造に伴って排出されるCO2をオフセット、社員旅行やエコツアーの飛行機移動により排出されるCO2をオフセット。製品やパッケージ、PR等にmore treesのカーボンオフセット認証用マークを付けることも可能です。また、ご希望があればカーボンオフセット証書を発行いたします。

良質の森づくりを展開し、吸収源のカーボンオフセットとしても確かな指標を示せるmore treesとの連携をはかり、本業とリンクした森林保全活動を推進しませんか。

◆代表的なカーボンオフセット事例◆



ココヨ(株)様：広告



ANA様：カーボンオフセットサービス



ワーナーミュージック ジャパン様：

ラジオのリクエスト1曲につき5kgのカーボンオフセットを実施



ANA サービス(株)様：

エコツアーの飛行機利用



◆認証用マーク

マークの下に記載されている数字は、more treesが実際に手がけるプロジェクト森林の位置をGPSデータ(緯度・経度)で示しています。どの森でオフセットされているのかまで明確にできる、こだわりの自主ラベルです。

▲more treesの森づくりへの参画によってカーボンオフセットしたことを証明するマークです。カーボンニュートラル(ゼロ)が達成されたときのみ使用可能なため、このマークを用いること自体に価値が見出されます。企業にも個人にも適用するmore treesのブランドアイデンティティです。

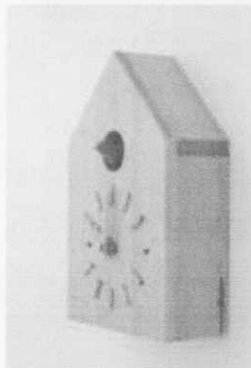
オリジナルグッズの販売

more trees は、間伐材の有効利用を促進し、新しいライフスタイルを提案します。

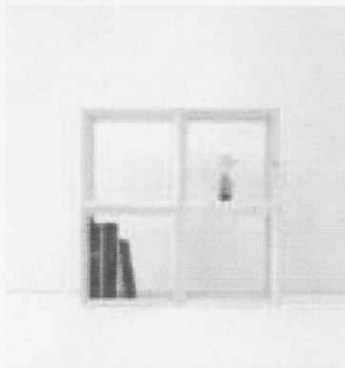
スギやヒノキ等を間伐した際に発生する間伐材。節が多い、曲がりやねじれがある等、加工に不向きな理由もあり、これまで有効活用されていませんでした。その間伐材をどんどん有効に使っていかう、と more trees は考えます。間伐を推進するとともに、間伐材を有効利用することが正しい森の循環を生むと考えるからです。地元業者やプロダクトデザイナーと共同で、間伐材の利用価値を見直し、かつ国産材の良さを感じられるアイテムを開発・販売していきます。新しい付加価値をもった木製グッズを、暮らしの中に取り入れてみませんか。



間伐材ベンチ(more trees 賛同人・深澤直人氏デザイン)



鳩時計(デザイン：深澤直人)



フレーム棚(デザイン：小林幹也)

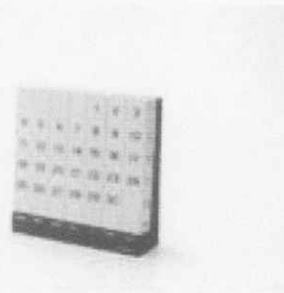


プランター(デザイン：熊谷有記)

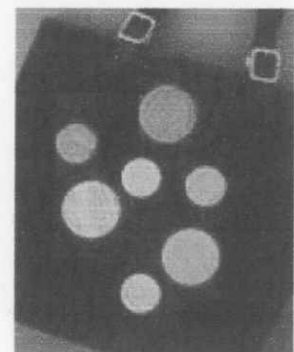
その他のオリジナルグッズは
EC サイト「rumors」

<http://rumors.jp/moretrees/list.html>

をはじめ、伊勢丹新宿店メンズ館など
でも取り扱っていただいています。



万年カレンダー(デザイン：清水慶太)



ブローチ(デザイン：熊谷有記)

森を通じた連携

健全な森づくりのために、様々な分野の方々と森への想いを共有していきたい、と more trees は考えています。個人・法人・自治体が森を通じて結びつく、そのつなぎ役になります。

◆企業の方へ◆

① 収益の一部を more trees に ~profit for more trees

商品やイベントの収益の一部を more trees 事業のための基金にしませんか？従来型の、企業による NGO や公益団体へのコントリビューションのかたちです。森づくり・森林保全を支援対象にしたいと考える企業にとっては、more trees は信用性においても話題性においても、この分野ではこれまでなかった新しい受け皿となるでしょう。

◆代表的なチャリティー事例◆



▲伊勢丹—Bonds with designers

Afternoon Tea
森にいいコト、してみる？
Tea for Trees

▲Afternoon Tea TEAROOM 「Tea for Trees」

BARNEYS
NEW YORK

▲BARNEYS NEW YORK×more trees
チャリティー企画



▲ポンテヴェキオ てんとう虫型ジュエリー

② プロモーション with more trees

広告物やプロモーションツールの要素に「more trees へのサポート」を組み入れて、more trees のソーシャルなメッセージとともに販促機会の活性化をはかりませんか。

③ クリック募金

more trees のサイトおよび協力してくれる個人のブログに、more trees へのクリック募金の窓口（バナー）をもちます。バナーはクリックすることで more trees への支援になると同時に、スポンサーサイトに通じます。すなわち広告です。自社の広告宣伝活動に寄与しながら、個人と more trees の接点をふやすご協力をお願いします。



◆地方自治体の方へ◆

more trees の森づくりをイニシャルケースにして森林整備（間伐）をすすめませんか。また、more trees と連携したプロダクトの開発、森林セラピー等を提供するエコツーリズムの推進、など、地方自治体の持つ豊富な環境資源・人材を活用しませんか。

◆海外で植林活動をしている NGO・NPO の方へ◆

more trees とともに、既存のプロジェクトをバージョンアップさせたり、新規プロジェクトを立ち上げませんか。

むすびに

圧倒的な訴求力と実現力とともに、大きな可能性をもった環境ムーブメントになります。皆様とのコラボレーションにより、多彩に面を広げていくことができれば幸いです。

*more***Trees**[®]

<http://www.more-trees.org>
